

お化粧を施し、いつもと違ったランチタイム



▲おしゃれにきまった松崎さんと相良さん

こんなお料理生まれて初めて



▲料理を口にし笑顔こぼれる寺岡さん(101歳)



料理の前に、自然にニコリと高田さん

4月26日(木)に行われた「フランス料理を楽しむ会」では一六四人がふくろうの郷で本格フランス料理を味わい、楽しいひと時を過ごしました。(2面へ続く)

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷 広報委員

洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページ

<http://www.normanet.ne.jp/hyoufuku/>

新緑の季節から、初夏の風が薫る季節となりました。ふくろうの畑の苗植えも終わり、夏野菜が日々成長を続けています。7月8日には恒例の収穫祭・ハーベキュー大会が開かれる予定です。お楽しみに。
ふれあいセンター1期工事も始まり、7月開所に向けて順調に進んでいます。中川原町の皆さまと共に気軽に訪れることが出来る場所を目指して職員一同がんばってまいります。「ふれあいセンター」の開所を共に迎えますよう。

中川原町全体の事業に 中川原中学校事業検討委員会

今年度新役員初めての「中川原中学校事業検討委員会」が4月22日に行われました。
前週14日には応援登録者への説明会も行われ、活動に向けての質問、疑問や意見の話し合いがおこなわれました。

参加者の中からは「中川原町全体で参加してもらえる事業にすることが重要」「利用する人にわかりやすいものを提供する必要がある」「事業内容を知らせる方法がふくろう新聞だけでは「ふくろうの郷」だけで進めている事業と思われる」「おたがいさま事業独自の広報誌が必要ではないか?開所前から発行してPRしてはどうか?」という声があり、中川原町の皆さまへ改めて事業実体と内容を正しく、わか

安心して楽しく住める環境・福祉の充実を

連合町内会会長：藤井一男

まもなく「中川原高齢者・障害者地域ふれあいセンター」が交流の広場として開所予定です。いつでも気軽に立ち寄れる場所が身近に出来るのが嬉しく、散と門扉の閉じたままの中学校が再び生き返って賑わう情景が目に見えそうです。
地域の元気な人達で支えあう

「おたがいさま中川原事業」は色々困った事が出来た時、気軽に相談し頼めるなんでも相談室として開設され、地域の活動して戴ける登録者の人が働いてくれる仕組みになっています。
安心して楽しく住める環境・福祉の充実を目指した町、中川原を皆で育てて行きましょう。



おいしい淡路牛と玉ねぎを食べました

柴山ハウスですき焼き鍋 5月8日おたがいさま試行事業

7月の開所まで、中川原町の皆さまと協力し合い、わかりやすくお伝えし、誰もが気軽に利用される事業になるよう進めてまいります。(担当：神代)

りやすく伝わるパンフレット、広報誌を作成してゆくことになりました。
応援者からは「頼み頼まれ、助け助けられ、譲り合う」「おたがいさま」という言葉は素晴らしいことば。有意義な事業になると思う。応援者として動く時には言葉遣い、ふるまいに気をつけてお手伝いをしたい」と、ありがたい、心強いことばをいただきました。



たのしかった
おいしかった
まだ楽しみたい!

(勝楽佐代子)



▲笑顔で食が進む渡邊さん



▲デザートを前にピースサインの北川さん



「うれしかった」と辛島さん



▲食事前に化粧をされる大北さん

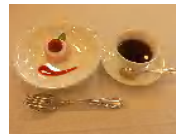


スープが特別においしかった。
また来てほしいけど、実際にお店
に行きたくなりました。

(谷妙子)



▲石丸宏子さんも



パンをほおぼる黒崎さん

当日のパンはおのころ屋から焼きたてを用意しました。

まず、このようなご縁を頂いたことに心から感謝致します。

使い慣れない厨房の為、機器の扱いに戸惑ったり、悪天候により魚の仕入れに気を揉んだり、当日を迎えるまでマイナス要素も多少ありましたが、何とか無事にお料理を提供することができ、ホッとしております。

スタッフの方々がとても熱心に取り組んで下さったので、私自身準備期間も含めて、とても楽しく有意義な時間を過ごさせて頂きました。

食べて頂いた方々に、そして準備をして下さった全てのスタッフの方々に、心からお礼を申し上げます。

また何か機会がございましたらお気軽にお声掛けください。

有難うございました。

平成24年5月2日
株式会社 ホテルアナガ
支配人・総料理長 中野匡昭

綺麗で珍しい料理。結婚式で食べた以来です。(北風章子)



▲ホテルアナガの中野さん(右)と藤原さん(中)に入居者自治会から感謝



▲ふくろうの郷がレストランに



▲職員が寺岡さんの名前で詩をつくりプレゼントしました



てのひらに 愛情いっぱいおのせて
らんまんには 永きには ころ百一年
おおくの 苦楽を 経験し
かがやく 人生築き上げ
はてしなく
つもる 思い出 宝の山
えいえんの 元気 ふく来たる



▲娘さんとお孫さんと

寺岡初枝さん
一〇一歳の誕生日おめでとう

「きょうされん」とは「全国共同作業所連絡会」の略称です。障害の種別、程度を超えて地域で働き暮らすことを制度として保障することを目的とし、様々な活動を展開しています。私たち「おのこの家」も会員です。

4月21日(土)は、神戸市長田区の鉄人広場できょうされん兵庫支部が主催する「きょうされんまつり」が開かれました。

きょうされんが行う初めてのイベントです。天気が心配されましたが、朝から爽やかな青空が広がりひと安心。参加者は千人を超え、各作業所の模擬店、地元長田区の人たちによる様々なステージ発表など、交流の輪が広がりました。



売上好評！初めてのおまつり —きょうされん兵庫まつり—

互いに励ましあつてがんばりましょう！来年も参加しましょうね。(おのこの家所長：橋詰)

この日は利用者7名、職員4名で参加。前日にみんなで作ったよもぎ餅(よもぎは淡路ふくろうの郷で摘んだもの)や通所者の家で採れたレタス、おのこの屋のお菓子、手作り品等を販売しました。どれも好評な売れ行でした。

他の作業所のみなさんもがんばつておられ、お菓子販売に関してはライバル多数でした。

ふくろう喫茶の お知らせ

開催日：
6月17日(日)
13:30~15:00
1杯¥200より



鉄人28号が見守る中行われました



夏野菜の苗植え



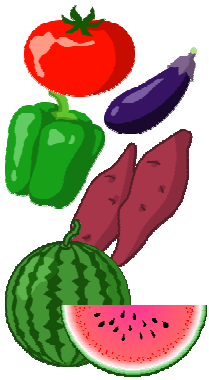
▲黒いマルチを敷いてからイモの苗を植えています

5月5日、今年もふくろうの畑にボランティアの皆さんの力を借りて夏野菜の苗を植えました。

前日に上内さんがトラクターで畑を耕してくれていたので、スムーズに進める事が出来ました。また、南の島、フイジーからの留学生、エティカさんも畑作業を体験されました。

これから水やりや草刈、畑の世話を皆様と力を合わせて育てて行きたいと考えています。

参加して下さった皆さん、ありがとうございました。



実際に避難してみよう！顔が見え助け合える地域づくりを

淡路聴覚障害者センター防災訓練

4月29日(日)社会生活教室の一環として淡路市の危機管理課の職員、消防団の協力を得て、淡路市塩田地区で防災訓練を行いました。

当日は、聴覚障害者12名をはじめ、市の福祉課職員、手話サークル、要約筆記者等総勢40名あまり。

まず、一人ひとり、非常食を作り、出来上がる時間を利用して、実際に聴覚障害者2名の家から避難場所の塩田小学校まで歩いてみました。その後、避難訓練で気づいたこと等意見交換を行いました。

聴覚障害者からは「避難場所が分かりにくい」「電光掲示板等で見て分かる表示がほしい」「車が接近してきても聞こえないのでこわい」「避難袋を用意していない人が多い」「地域の付き合いがなく地域の防災訓練は参加したことがない」等たくさん意見がだされました。

消防団の方からは独居の方の把握はしているが、障害者の把握はまだできていないこと、また、市としても、障害者の避難訓練は初めての試みであり、今

年度、市の防災計画を作り直す時に今回の意見を参考にしたいとのことでした。

また、現在、市としては自主防災組織を立ち上げる準備をしており、今後は地域で自治会、民生委員、一般の人と共に、障害者や高齢者、子供も防災訓練に参加してもらい、それぞれの特性を知り、助け合える地域を作ることが必要であり、今後もセンターと連携しながら実質的な防災体制が作れるようになっていきたい、とのことでした。

センターとしても「隣近所、顔が見え、助け合える地域づくり」を島内全域に広めていきたいと考えています。

(センター：吉川)



▲車の音が聞こえないので怖かったです

続・地域を語る

第41回 馬落ち薬師

(中川原町中川原)

宝来山松栄寺住職 笹津寛照

光照寺本堂西にある薬師堂は淡路四十九薬師第四十八番霊場で「馬落薬師」の名で知られています。

この薬師堂の前を馬に乗ったまま通行する者が何人も落馬する。これは薬師如来の霊験に違いないと考えた人々は、馬で通行の際には必ず下馬をして手を合わせたという。

また一説には一五二八年、三好存保という武士がここで落馬し病んだので、病平癒を祈願し薬師像を安置したとも伝えられている。

真言宗密教では、薬師如来はその名の通り医薬を司る仏で、我々の病気を治してくれる神様ですが、一方で病と戦う怒りの一面も持ち合わせておりチベット等に伝わる姿は憤怒の形です。

また四十九という数字と非常に関連が深く、人が重い病に倒れた時に行う秘法に四十九薬師除災法と言うのがあったり、地獄で四十九日目に亡者を裁くのは薬師如来であるとされています。



馬落ち薬師で知られる薬師堂

ちなみに西方極楽浄土の阿彌陀如来様が来世での安らぎを約束するのに対して、薬師様は東方淨瑠璃界の教主で現世での安らぎを約束する点が異なっています。

光照寺に伝わるお薬師様は地域の人々が大切にお祭りされているので道中の旅人も自然と手を合わせて行く様になったと思います。

薬師堂の前で手を合わせるのと、今も地域の人達がこの世で安寧に暮らせる様に見続けておられるように感じます。



「おのころ屋」は4月からパンの製造販売も始めました。おかげさまで好評をいただいております。

店頭販売に加え、パン・焼き菓子の移動販売も行っております。

みなさまからのご注文、お待ちしております。



営業日時: 月曜日～金曜日 10:00～18:00

(菓子の日: 月～金 & パンの日: 火～金)

販売先: 〒656-0025 洲本市本町7丁目3-41

TEL&FAX 0799-26-0956

入居者の願い叶える筍ほり

「筍ほりに行きたい」

入居者の黒崎さんが地域交流会の北岡様に発した一言がきっかけとなり、平野様の御厚意により4月28日入居者、職員、ボランティア合わせて9人が筍をほりに行ってきました。準備して下さった皆様、ありがとうございました。



筍を掘り出し喜ぶ言うつ者の藤本さん

島外ふくろう学習会のお知らせ

■テーマ:

「神戸市聴覚障害者総合福祉センター(仮)構想について

■日時: 5月26日(土)14時～

■場所: 県立文化体育館 研修室B

山陽電鉄「西代駅」下車すぐ

JR「新長田駅」下車北へ500m

■お問い合わせはこちらまで

TEL: 0799(25)8550 FAX: 0799(25)8551

地域交流会主催 ふくろう手話講座開講



今年もふくろうの郷で手話講習会が開講されます。

入居者のみなさんと共に交流を深めながら手話を学んでいきませんか。

受講料はテキスト代のみです。

みなさんの受講をお待ちしております。

開始時間 13:30～15:00

※先月号にて開始日を間違ってお知らせいたしました。

正しい日程は右記のとおりです。申し訳ございませんでした。

ふくろう手話講座授業日程

第1回	5月19日	第9回	12月1日
第2回	7月7日	第10回	12月15日
第3回	7月21日	第11回	1月19日
第4回	8月18日	第12回	2月2日
第5回	9月1日	第13回	2月16日
第6回	9月15日	第14回	3月2日
第7回	11月3日	第15回	3月16日
第8回	11月17日		

※6月、10月は農繁期のため休講です。